
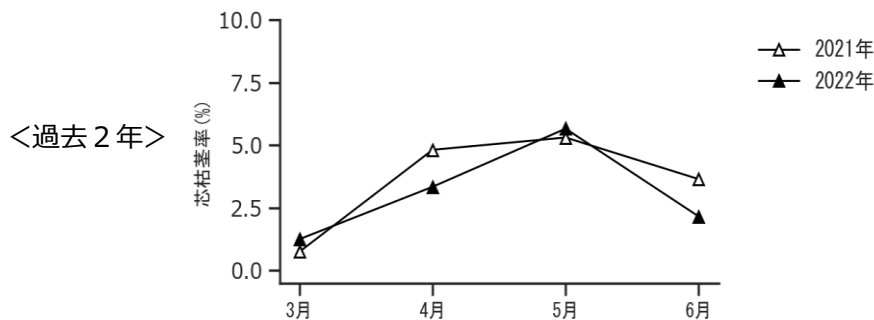
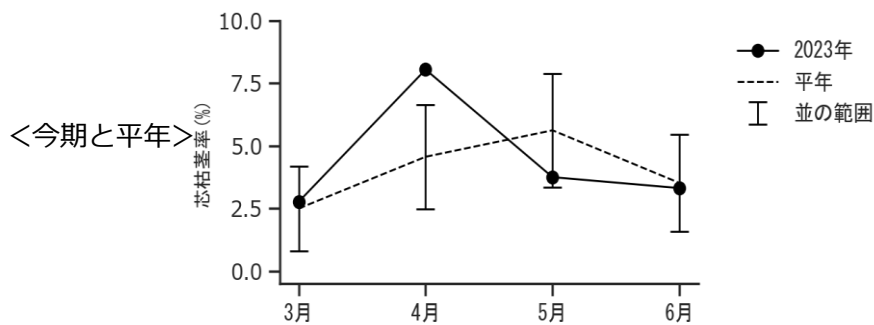


作物	さとうきび		地域	沖縄群島
病害虫名	メイチュウ類(カンシャシクイハマキ・イネヨトウ) (株出し)			
調査結果	6 月の発生量 (平年比)	並		
予報	6 月からの増減傾向	—		
	7 月の発生量 (平年比)	—		
予報の根拠				

調査結果


芯枯茎率の推移



- ・ 茎内で発見したメイチュウ類のうち、優先種はカンシャシクイハマキであった。
- ・ 発生ほ場率100% (平年 : 84.8%)

防除のポイント

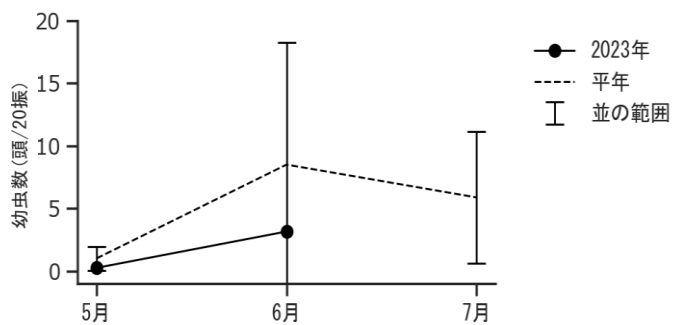
- ・ ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・ ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・ 加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、植付けおよび株出し管理時から生育初期にかけての防除を徹底する。

作物	さとうきび		地域	沖縄群島
病害虫名	① バッタ類			
調査結果	6 月の発生量 (平年比)	並		
予報	6 月からの増減傾向	↓		
	7 月の発生量 (平年比)	やや少		
予報の根拠			平年の発生量の推移 (↓)	

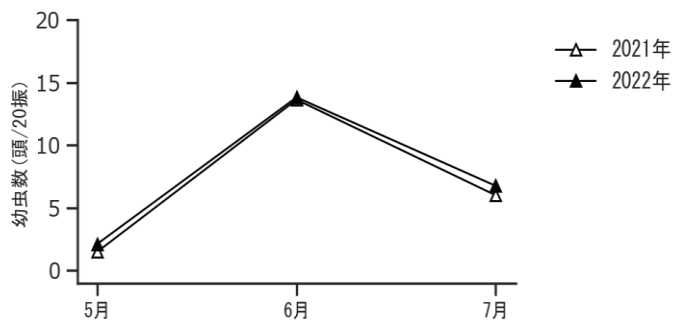
調査結果

幼虫数の推移

<今期と平年>



<過去2年>



・発生ほ場率87.5% (平年 : 70.2%)

防除のポイント

- ・発生源となるほ場及び周辺のイネ科雑草の除草を徹底する。
- ・幼虫期の防除が効果的なので、ほ場周辺の見回りを行い幼虫の早期発見・防除に努める。